

UP DATE

事業活動

■ 第23回非開削技術研究発表会 (2012)

第23回非開削技術研究発表会を11月27日(火)に東京都港区内の発明会館ホールにて開催いたしました。全発表論文数は24編であり、これを技術ジャンル毎に6セッションに分けて発表いただきました。論文数が多いことから午前9時開会、午後5時30分閉会で、途中休憩を含めて総時間数8時間半の発表会となりました。

各セッションの技術ジャンルと発表論文数は下記の通りです。

- 第1セッション 地下探査技術
- 第2セッション 管洗浄・検査技術
- 第3セッション 管推進技術(理論・分析)
- 第4セッション 管更生・耐震・診断技術
- 第5セッション 管推進技術(開発・応用)
- 第6セッション 管推進技術(施工事例)

発表会参加者は約150名。また発表会終了後、各セッションの発表者・座長及び聴講者による意見交換・懇談会を行いました。

■ HDD(誘導式水平ドリル)工法

技術講習会(横浜)

本年度第3回目の「環境に優しい推進(HDD工法)技術講習会(横浜)」を11月16日(金)に横浜市中区内のワークピア横浜(神奈川県労働福祉会館)にて開催いたしました。この講習会は、欧米では一般的工法として採用されている高能率なHDD工法の日本国内での普及拡大を図るために行っているもので、仙台・千葉に次ぎ本年度3回目となる講習会です。講習会では、HDD工法の技術内容、設計・積算要領、施工管理、採用事例等を説明いたしました。時間は午後1時30分から3時30分の2時間、参加者は社会基盤設備企業者(上水、電気、ガス、通信等)やコンサルタントから約50名でありました。

■ No-Dig Award 2012(国際非開削技術賞) 受賞会見

2012年11月にブラジル・サンパウロ市内の国際会議場で世界27の国と地域が参加して行われました第30回非開削技術国際会議において、日本の推進工法「ミリングモール工法」(JSTT会員:ヤスタエンジニアリング(株))が非開削技術に関する世界最高の栄誉の一つであるNo-Dig Award 2012(国際非開削技術賞)を受賞しました。

これを祝し、また日本の非開削技術の先進性を足元の国内においても再度幅広く確認いただくため、受賞記念記者会見を12月6日(木)、(公社)日本推進技術協会会議室にて行いました。



No-Dig Award 2012受賞記念記者会見の様子



No-Dig Award 2012トロフィーを中心に受賞を喜ぶ松井大悟会長、ヤスタエンジニアリング(株)安田京一代表取締役、安田一成専務取締役、富田昌晴設計部課長(右から)

UPDATE

委員会活動

■ 技術委員会

第75回技術委員会を9月25日（火）に開催しました。委員会では、本年11月に開催する第23回非開削技術研究発表会に向けて投稿いただきました24編の応募論文概要の審査や研究発表会の実施要領等を審議しました。審議の結果、応募論文は全て採用とすること、発表は論文を技術ジャンル別に6つのセッションに分けて行うこと等を決定しました。

また委員会への報告事項として、(1) 第19回非開削技術講演会（7月10日）開催結果、(2) 中国非開削協会（CSTT）との交流活動計画（平成25年夏予定）、(3) 技術委員会に関連する4つの委員会の活動状況、(4) 機関誌No-Dig Todayの紙面のカラー化計画（案）、等が説明されました。

■ 機関誌No-Dig Today編集委員会、 編集企画小委員会

【編集委員会】

第83回編集委員会を10月10日（水）に開催しました。委員会では、機関誌No-Dig Today 第81号（10月1日発行、特集：管路の非開削改築技術）の全体記事構成や各記事の内容等を審議しました。また、第81号より新たに実施しました技術特集記事のカラー化計画（案）と、今後の機関誌第82号（本号）、第83号（2013年4月1日発行予定）の技術特集記事のテーマ（案）を承認しました。

【編集企画小委員会】

第94回、第95回、第96回の編集企画小委員会をそれぞれ9月4日（火）、10月10日（水）、12月3日（月）に開催しました。これらの委員会では、機関誌第82号（本号）と機関誌第83号（2013年4月1日発行予定）の技術特集のテーマを検討・審議し、第82号は「震災復旧に貢献する非開削技術」、第83号は「ライフライン用途以外で活躍する非開削技術」（仮称）とすることとしました。また、震災復旧関連の第82号の記事は震災被害を受けた地下の設備管理者や震災復旧に携わる非開削技術関係者等に広く記事執筆を依頼すること

としました。

■ 工法ナビゲーションシステム運営委員会

第42回委員会を9月19日（水）に開催しました。委員会では、工法登録者からの種々の要望に対するルール化、近年の国際化時代を見据えての工法ナビゲーションサービスの在り方等を審議しました。

■ ソーシャルコスト検討委員会

第15回委員会を10月26日（金）に開催しました。委員会では、これまで検討を進めて来た「ソーシャルコスト検討マニュアル」（たたき台）について、各委員間で役割を分担して、一層の内容の精査を行うこととしました。この業務今後も、平成25年上期予定の「ソーシャルコスト検討マニュアル（案）」の発行に向けて、継続して行くこととしました。

■ 地下探査技術委員会

第11回委員会を9月20日（木）に開催しました。委員会では、当面の活動目標である「地下探査技術マニュアル（案）」策定に向け、対象とする用途（埋設物探査・空洞探査・設備設計用途・設備管理用途など）と要素技術（地中レーダ法・電磁誘導法など）の関連を整理して具体的なマニュアル（案）の内容検討に着手しました。

■ HDD（誘導式水平ボーリング）工法委員会

第51回、第52回の委員会をそれぞれ9月6日（木）、10月15日（月）に開催しました。これらの委員会では、工法の普及PRツールとして活用してきた平成19年度版施工事例集を平成25年度に更新すること、HDD工法の特徴やメリットを国内で広く理解いただくための技術講習会、現場見学会等の広報活動の開催計画を審議しました。

この結果、11月16日（金）、神奈川県横浜市内にて技術講習会を行うこととし、講習内容や講師を審議・決定しました。